

米大統領のコロナ感染と米雇用統計

ポイント① トランプ大統領が感染・入院

10月2日、米国のトランプ大統領は新型コロナウイルスに感染したことを発表し、同日、入院しました。当初、ホワイトハウスからは症状は軽いの説明がありましたが、一時酸素吸入を受けたとの情報などもあります。重症化の危険性が高まるとされる高齢（74歳）、肥満（体重100kg以上）、男性という条件が重なっていることもあり、早期に回復できるかは、まだよく分かりません。

ポイント② まだら模様の9月分米雇用統計

2日には9月分の米雇用統計の発表もありました。失業率は5か月連続で低下しましたが、労働参加率（働いている人および働く意思のある人の比率）は8月より低下し、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準を大きく下回っています。就職機会が低下し、職探しをあきらめた人が増えているようです。非農業部門就業者数は5か月連続で増加しましたが、増加ペースは3か月連続で鈍化しました。

ポイント③ 高まる不透明要因

トランプ大統領の支持率は、新型コロナウイルスの感染拡大につれて低下した後、6月頃を底に回復しました。しかし、大統領が連邦所得税をほとんど払っていないとの報道や、大統領候補討論会での言動などから再び低下しました。自らの感染で危機管理体制の甘さが批判され、支持率がさらに低下すること考えられます。一方、早期に回復すれば、タフな大統領というイメージをアピールできるかもしれません。

11月3日の大統領選投票を控え、トランプ大統領の症状、景気指標、トランプ、バイデン両候補の支持率などに左右されて、米国および世界の金融市場は不安定な動きが続く可能性があります。

図1：米国の失業率と非農業部門就業者数

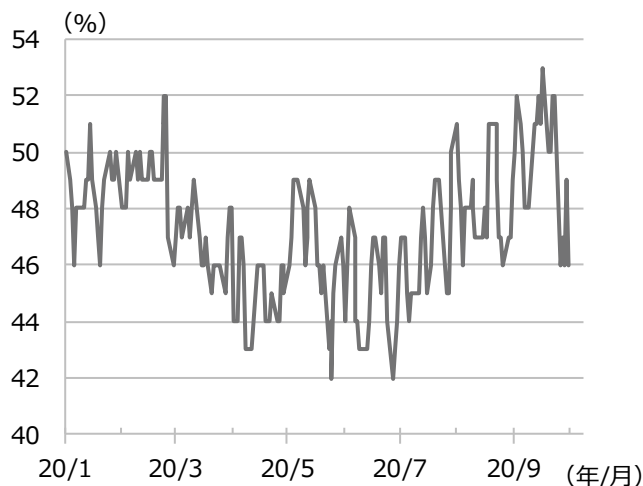
期間：2020年1月～2020年9月、月次

	失業率 (%)	労働参加率 (%)	非農業部門就業者数 (万人)	
			総数	前月比 増減
2020年				
1月	3.6	63.4	15,221	21.4
2月	3.5	63.4	15,246	25.1
3月	4.4	62.7	15,109	-137.3
4月	14.7	60.2	13,030	-2,078.7
5月	13.3	60.8	13,303	272.5
6月	11.1	61.5	13,781	478.1
7月	10.2	61.4	13,957	176.1
8月	8.4	61.7	14,106	148.9
9月	7.9	61.4	14,172	66.1

(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

図2：トランプ大統領支持率

期間：2020年1月3日～2020年10月2日、日次



(出所) Rasmussen Reports
(https://www.rasmussenreports.com/public_content/politics/trump_administration/prez_track_oct02) より野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

10月16日 米小売売上高、米鉱工業生産指数（9月）
10月29日 米GDP（国内総生産、7-9月期）速報値

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。